

## 平山先生にお話を聞きました！

いいお話が聞けたので、ご紹介します！！

☆小さい時に出来るお手伝いは、天候にかかわらずに毎日出来る、新聞を取ってくるカーテンの開け閉め・お風呂の準備など命にかかわらない程度の簡単なお手伝いをさせましょう。

☆初めからは完璧にできないので、段階をおって、少しずつステップアップさせていくといいです。

☆初めは、お母さん自身が好きな分野でのお手伝いからはじめるといいです。

☆お手伝いは、「出来ない」とか、「知らない」で終わらせない事が、聞く、教えてもらおうとする姿勢に繋がります。また、なわとびやサッカーの様に、沢山練習すれば上達するのと同じで、お手伝いも経験を積むことが大切です。

☆失敗しても、怒らないで、やり直すことが出来るという事を教えましょう。

文京学院大学教授  
保育実践研究センター長  
平山 許江 先生



### お手伝いのエピソード

- ・卵を上手に割ってくれたり、玉ねぎを上手に皮を剥いてくれたりできたので、褒めるとドンドンやりたがり、気がつけば消費できない（一食では）割れた卵と玉ねぎの山が出来上がりました（笑）。
- ・すすんで、「お風呂洗い」をしてくれる事があり、結構ちゃんとやって綺麗になりますが、服は上から下まで…
- ・おもちゃを二人で片付けしてたら子供が遊びだして片付かなかった…
- ・味見を頼んだら、味見ばかりをしたがるようになり、まだ味付けをしてないものまでしたがるようになった。
- ・窓ふきを兄弟でやらせていると、いつの間にかにらめっこに…
- ・おやつ作りは自分の好きな物なので楽しそうに喜んでやります。ねんど遊びみたいで！